

2014年度（平成26年度）苫小牧市温室効果ガス排出量

平成30年3月
苫小牧市環境衛生部環境保全課

1 温室効果ガス排出量について

市内温室効果ガス排出量（CO₂換算）は3,897千トンとなり、前年度比5.3%の減少（基準年比11.3%の増加）となりました。

部門別では、産業部門で前年度比6.4%の減少（基準年比1.5%の減少）、業務部門で前年度比0.8%の減少（基準年度比47.8%の増加）、家庭部門で前年度比3.4%の減少（基準年度比75.4%の増加）、廃棄物部門で前年度比10.9%の減少（基準年度比17.3%の減少）となりました。

減少の要因は、エネルギー使用量の減少によるものと考えられます。

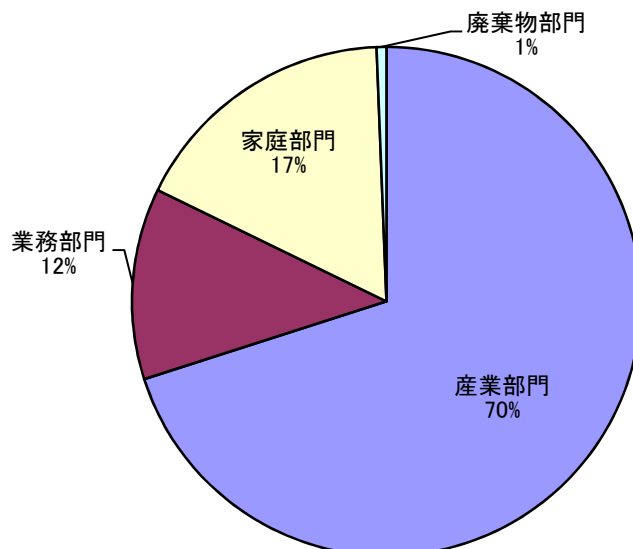
なお、総合エネルギー統計の推計方法改正によって、1990年度まで遡って都道府県別エネルギー消費統計の改正が行われたことにより、基準値が変更となっているほか、算定の結果についても同様に変更されています。

（単位：千t - CO₂）

	1990年度 (基準値)	2012年度	2013年度	2014年度	2014年度	
					基準年比	前年比
合計	3,501	3,999	4,114	3,897	11.3%	-5.3%
産業部門	2,770	2,686	2,916	2,730	-1.5%	-6.4%
業務部門	320	553	477	473	47.8%	-0.8%
家庭部門	382	726	693	670	75.4%	-3.4%
廃棄物部門	29	34	27	24	-17.3%	-10.9%

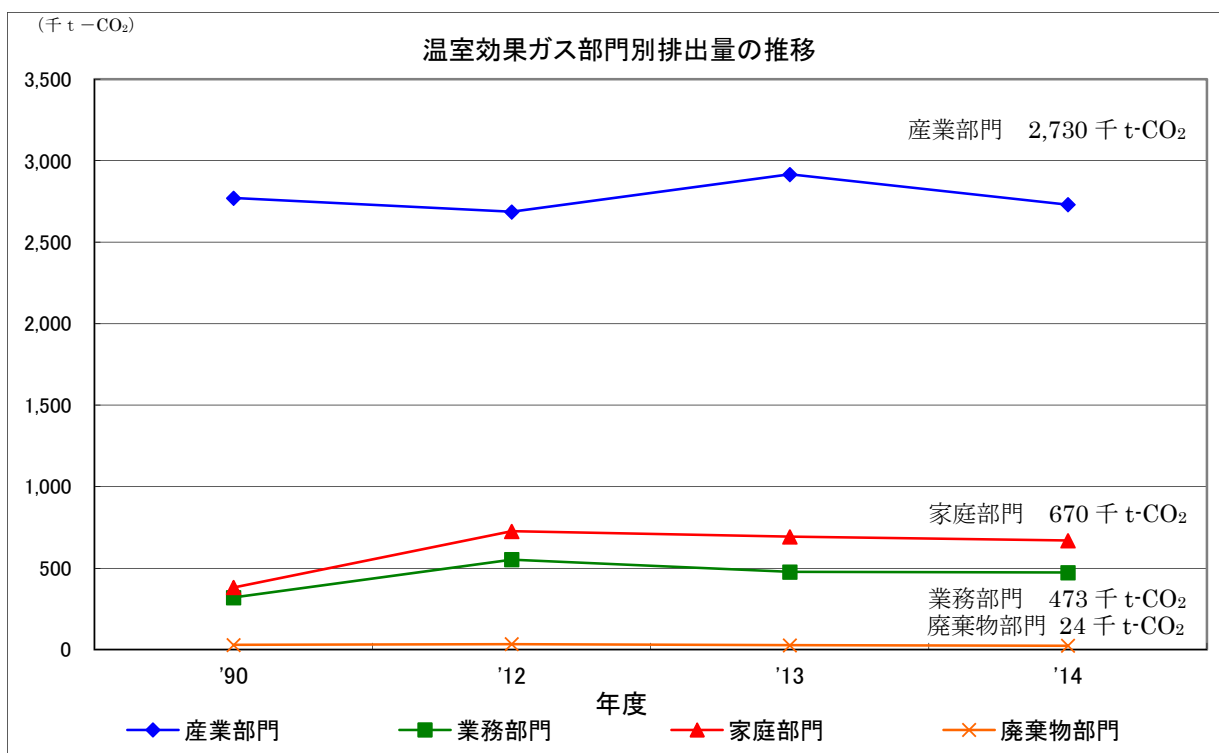
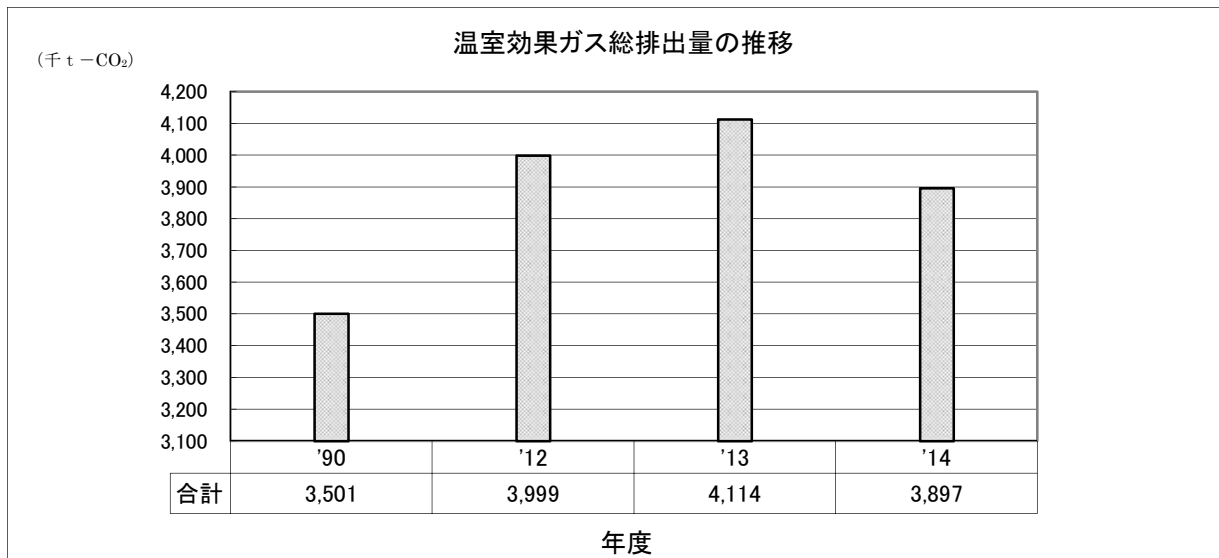
※ 排出量は、各種統計データを基に算定していますが、公開時期の関係で、一部のデータは推計値等を使用しています。今後、各種統計データの修正、算定方法の見直し等があった場合は、排出量は変更されることがあります。

部門別の割合（2014年度）



2 経年変化について

1990年度から2014年度までの経年変化は次のグラフのとおりです。



3 部門別目標の進捗状況

	目標(2017年度)	2014年度 (基準年度比)
産業部門	総排出量 -15.0%	-1.5%
業務部門	床面積1 m ² 当たり排出量 -12.0%	-6.5%
家庭部門	1世帯当たり排出量 -7.0%	23.1%
廃棄物部門	1世帯当たり排出量 -15.0%	-41.9%